

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏-1	(2)記載者氏名:	福岡孝昭	会員番号:	12185	事務局整理記入欄	スキークラブ-2
分水嶺区分	E359檜高山~E3595オモジロ山	(3)山行日:	2004年4月25日	(4)天候:雪のち快晴(積雪1m)			

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

東原 進	7514	山縣喜美子	11087					
高原三平	7949	大田慶子	11088					
福士節子	8147	福岡孝昭	12185					
荻野和彦(ゲスト)	8187	西田 進	12227					
早川英夫	8273	山本以久子	12260					
川合 周	9521	日出平洋太郎	13677					
計			12名	計				名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	長蔵小屋~檜高山~早稲沢最上流部~1884.7m地点北東部~三平峠~一ノ瀬~大清水												
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係 (トラックポイント番 号)
			度	分	秒	度	分	秒					
①歩行開始点 シール装着点	長蔵小屋	燧ヶ岳	139	19	6.2	36	55	29.5	1,631.5		07:45:17		(001)
②分水嶺到達点		燧ヶ岳	139	19	51.6	36	55	19.7	1,908.4	09:16:56	09:16:56	B-4	(125)
③E359	檜高山	燧ヶ岳	139	19	38.2	36	55	3.0	1,940.1	09:59:14	10:00:40	B-4	(8)(202/203)
④前日のトラック への合流点	オモジロ山	三平峠	139	18	50.9	36	54	16.4	1,891.1	11:54:36	12:24:49	B-4	(8)(444/445)
⑤道を誤る 分水嶺離別		三平峠	139	18	50.5	36	54	33.2	1,893.5	12:46:22		B-4	(486)
⑥引返し点		三平峠	139	18	49.9	36	54	23.3	1,866.5	13:00:32	13:04:46	B-4	(514)
⑦ほぼ分水嶺に復帰		三平峠	139	18	44.4	36	54	41.1	1,806.0	13:28:24		B-4	(562)
⑧シール脱着 滑降開始		三平峠	139	18	40.3	36	54	43.3	1,809.3		13:52:52	B-4	(575)
⑨分水嶺離別点		三平峠	139	18	36.0	36	54	44.0	1,786.7		14:01:51	B-4	(588)
⑩滑降終了点	一ノ瀬休憩所	三平峠	139	17	56.1	36	53	58.0	1,423.8	14:36:47	14:39:44	B-4	(695/696)
⑪													
⑫歩行終了点	大清水駐車場	三平峠	139	18	40.9	36	52	28.8	1,194.1	15:30:42		A-1	(789)
総歩行時間(休憩時間を除く):												6時間41分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
③E359	檜高山				積雪のため確認できず

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

③、④地点間の早稲沢最上流部に昨日の早稲沢左岸にあった伐採木材の搬出用ワイヤーロープ(索道)の続きが分水嶺を横切るようにして存在する。おそらく南面のオモジロ沢方面に搬出の様子。地形図には記載がない。

(9)水および植生に関連した特記事項

なし

(10)その他の特記事項

なし

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 1. 今回の分水嶺最高地点檜高山(1932.2m)にて(③)
2. 三平峠へ帰着、バックに燧ヶ岳(⑨)



1. 今回の分水嶺最高地点檜高山(1932. 2m)にて(㊸)



2. 三平峠へ帰着、バックに燧ヶ岳(㊸)